

《レポート》・・・日本のエネルギー政策・・・

併せて地球温暖化対策

エネルギーの確保は、食料の確保と並んで人類・国家の盛衰にとって基本的な課題と言えます。

経済産業省は2024年12月17日に第7次エネルギー基本計画の原案を公表しました。

引き続いて12月24日に新しい地球温暖化対策計画を、経産省・環境省の両者でとりまとめました。

（注）本2計画は2月18日閣議決定しました。

エネルギー基本計画は3年ごとに改定される、

中長期にわたる国のエネルギーに関する基本的な方針を示すものです。

今回の第7次計画では2040年度の電源構成が示されており、その特徴はデータセンターや半導体工場の新設により予想される電力増と地球温暖化対策の脱炭素の両立を図るために、原子力と再エネを最大限活用する点にあります。上表は電源構成、下表は再生エネルギーの構成比を含む重要な数値を示しています。

	再生エネルギー（％）	原子力（％）	火力（％）
22年度（実績値）	21.7％	5.5％	72.8％
23年度（実績速報値）	22.9	8.5	68.6
30年度（現行計画値）	36～38	20～22	41
40年度（新計画値）	40～50程度	20程度	30～40程度

	2023年度（速報値）	2040年度（見通し）
エネルギー自給率	15.2％	30～40％程度
発電電力量	9854億KWH	1.1～1.2兆KWH程度
電源構成 再エネ	22.9％	40～50％
太陽光	9.8	22～29
風力	1.1	4～8
水力	7.6	8～10
地熱	0.3	1～2
バイオマス	4.1	5～6
原子力	8.5	20
火力	68.6	30～40
最終エネルギー消費量	3.0億KL	2.5～2.8億KL
GHG削減割合（13年度比）	22.9％（22年度実績値）	73％

2040年には全エネルギーの半分以上が再エネとなり、その中でも太陽光発電が再生エネの大きな比重を占めており、発電量をパネル面積に換算すると、愛知県の面積となるそうです。農地の併用（営農型）や家庭やビルへに普及が重要な課題

となっています。

原子力については、従来の方針から踏み込んで、安全性の確保を大前提として、地元の理解獲得等の条件付きながら新型炉への建替えを容認しています。

一方の地球温暖化対策は、パリ協定により5年ごとに報告義務があり、25年2月までに国連に報告することになります。

エネルギー、地球温暖化対策の二つの計画に示される2040年度のGHG（温室効果ガス）の削減割合は13年度比で73%、それを分野別に分けると右表の通り、私たちが直接関係する家庭からの排出削減率は71～81%。

この値を実現させる手立ては何かと考察するに、
↑省エネ：照明（LED）、省エネ家電、効率の良い給湯器（エコキュート）、燃料電池（エネファーム）、再生可能エネルギー（太陽光発電）、ZEH（ゼロエネルギーハウス）等の採用。

↑生活様式の改善：公共交通機関の活用、食品ロスの削減、3Rの実行等。

特に依存度が大きい太陽光発電については、ペ

ロブスカイト型という軽量で曲げることができ
る膜状のパネルの開発が進んでおり、経産省の案
（次世代太陽電池戦略・令和6・11月）では、
2040年に建物の屋根や壁面取り付けで、20
GW（原発20基分）の発電を想定しています。
ZEHやZEB（ゼロエネルギービルディング）を
達成する最も有力な武器となるでしょう。

上記内容は、第7次エネルギー基本計画（原案・
資源エネルギー庁）、及び日経新聞24/12/18・
25・26日朝刊に掲載された関連記事を参考にし

分野	40年度削減率
産業	57～61%
家庭	71～81
運輸	64～82
エネルギー転換	81～91

てまと
めてあ
ります。

参考：世界で再生可能エネル
ギーへの転換が進んでいる国
を紹介しておきます。

左は絶対量の順

右は転換率の順、

国	電力量GW
中国	1206
アメリカ	370
ブラジル	175
インド	167
ドイツ	153
日本	139
カナダ	105
スペイン	71
フランス	67
イタリア	63

2022年度：IRENAより

国	転換率%	備考：再エネの内訳、原子力は含まず
ブラジル	90	水力61、風力14、バイオ8
スウェーデン	85	水力50、風力26、バイオ8
デンマーク	83	風力52、バイオ22、太陽光9
カナダ	71	水力62、風力6、
チリ	66	水力30、太陽光18、風力11
ポルトガル	62	水力25、風力22、太陽光9
スペイン	55	風力24、太陽光17、風力12
ドイツ	54	風力28、太陽光12、バイオ9
イギリス	45	風力28、バイオ10、太陽光5
中国	32	水力14、風力11、太陽光6
日本	24	太陽光10、水力7、バイオ4
アメリカ	22	風力10、水力6、太陽光5
インド	22	水力8、太陽光7、風力5

2023年度：自然エネルギー財団

注：フランスは原子力が64%を占めるため再エネは少ない。

スウェーデンは原子力を加えてほぼ100%の脱炭素となる。

アイスランドは水力と地熱で100%の脱炭素となる。

鈴木 為之（山の根在住）

令和7年2月度役員会

開催日時と場所：2025年2月1日（土）13時

00分～15時10分 久木会館

出席者：16名（役員13名）

議題

(1) 行政からの連絡事項

①地域公共交通フォーラムの件

2月20日に首題のフォーラムが市役所で開催さ

れることが紹介された。

逗子市の公共交通を協議する為の参考となる旨、
補足があった。

②送迎ドライバー募集の件

清寿園の送迎バスのドライバー不足による募集の件が紹介された。

③崖地調査の件

2月3日に市の担当部署の職員30名～50名が危険崖地の点検に歩く予定であること報告された。

(年1回の定期点検として実施)

④避難行動要支援者の個別援助計画の件

優先度をつけて実施する計画となっているが、優先度の高い人のリストは完成した(対象は約50名)。テストケースとして、年度内に所管部署職員が個別訪問して個別計画策定する予定であることが報告された。

・本件に関し、関連する自主防災組織に対象者を伝達するよう要請された。

(2)事務局からの報告事項

①逗子市住民協連絡会(1/31(金)実施)報告

令和6年度逗子市防災訓練実施結果につき説明があり、議論されたことが報告され、出席者から、他地区に関し、以下のような見解が示された。

・各地区も在宅避難者を含めた訓練を実施したはずだが、防災拠点、自主防災組織、在宅避難者間の情報伝達につき配慮されていない。

・被災状況の把握の為に必要なWebアンケート

の意義が理解されていない。

・公助を求める意見が多く、行政まかせの意図が感じられた。

・組織的に情報収集する方法が考えられていない。

・自主防災組織がうまく機能していない。

また久木に関しては、他地区に比べてWebアンケート回答数は格段に多いが、母数を考えるとまだまだ不足していることから、防災安全課、デジタル推進課と共同で勉強会を開催するのも必要ではないかとの意見が出された。

(3) 審議事項

①子ども部会の今後の活動について

子供部会としては「みんなのカフェ」を実施しているので、その活動の維持を主として、会長兼務となっている会長職を再度門脇茜氏に打診する。

厨房で料理をまかなっている人達のマンパワーを子供部会として活用できないか検討する。

②ふれあい部会の今後の活動について

部会の会議を3～4ヵ月に1度だけでも実施すべきである。

基本はお互いさま活動であったが、地区に浸透していないので、議論がまとまらない。

防災とからめて、避難行動要支援者の個別計画の在り方、安否確認の取り組みなどにつき考える会とするのが活動しやすいのではないか。

③拠点部会等の今後の活動について

久木会館活動と一緒に、会長は小林氏としたい。拠点活用企画は石井氏が担当することも視野に入れる。

④部会活動全般につき下記の意見が出された。

・各部会活動は住民協だけで考えず、地域で活動しているグループとコラボして取り組むべきで、横の広がりを求めていくのがよい。

住民協として、場所、資金(市の地域づくり助成金の活用)、行政との連携などのサポートが可能である。

・地域にある施設、妙光寺、ふたば葬儀社、などの災害時の避難所活用の協議、とちぎや豆腐店とのコラボ企画など拠点部会のテーマとしてもいいのではないか。

⑤その他

a) 埼玉県での陥没事故を踏まえて、逗子市として公共インフラの老朽化の把握をどの程度実施しているのか担当部署から開示するよう、市の地域担当リーダーである堀田氏に要請した。

b) 逗子駅の金沢踏切は距離が長く高齢者が渡り切れない事例も見受けられる。歩道橋にエスカレーターを設置するなど検討してもらいたい。住民協として担当部署と協議をしたいので、手配するよう市の地域担当リーダーである堀田氏に要請した。

c) 久木会館の設備の故障が多々みられるので、市民協働課に改善を要求している。

暖房については、住民協の余剰金で温風電熱器を買って貰いたいとの要請があるが、事務局より市設備の更新は市の責務であることを申し入れることになった。

2024. 5. 27

駄洒落栖人

今日は久木朝市。野菜は完売。

ほっとした。終わって気晴らしで車を走らせた。思い立って逗子から芦名方面に。

芦名の天神島（横須賀市教育委員会の管轄：ハマユウの北限の海岸）に進路をとった。久しぶりの天神島。何年振りか、もうかれこれ5年だろうか。ずっと奥まで入り、青少年センターまで行きつく。行き止まり。Uターンして会館の駐車場前を通り過ぎるとき、「この駐車場はおいくらで利用できますか」、と駐車場の管理をしている方に車を止めて入り口で尋ねた。「ここは無料です。ただ今日は、もう時間が迫ってますから、あと1時間ほどです。よろしければ空いてますからどうぞ」と。私もその説明に気をよくして「ここ、教員の時に研修合宿したところなんです」なんて話かけてしまった。で。車を中に入れて駐車した。降りたら何やら駐車場の管理の方が、にこにこ笑って私を親しげに見つめる。近づいてくる。

「細野先生ですよ」 「はい」

「私、Kって言いますが、覚えていらっしゃるでしょうか？」と。はて、が私の答え。顔を見つめる私。そんな私にかまわず彼は話しかけてくれる。「えっと、公郷中に新任で、その時から細野先生が来るたびに【元氣か、英語、教えてますか】なんて明るく冗談交じりによく声をかけてくれました。もう一人 W 先生とよく一緒に来られて。声かけてくださったことが励みになり、嬉しかったです。もう会わなくなってから何年経ちますかね。35年、40年」明るく彼は語り続けます。思い出しました。彼をはっきり。ああ、あの時の彼。そうか。あの時の彼。目に面影が。剣道部顧問。

彼、続けて話します。私の好きな尊敬する、そうなりたかった教師が、細野先生と W 先生だったんです。」なんとまあ、嬉しいことを言ってくださる。ま、60歳過ぎのおじさんが言ってくれるんだから本当だろう。耳障りがいい話。生徒指導で苦労してた時もあったので、よく思い出していたそうだ。私も生徒指導だったから。

「なぜここで働いているんですか。」の問い「教員が定年になって横須賀市の教育委員会が天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンターの職員募集したので、こういうところがいいなと思っていたので試験受けたのです。いろいろ聞かれました。私はアメフラシに興味がありましたので、それを中心に面接しました。花が好きな方や魚の好きな方はそれなどに…」大したもの。英語の教師だった方が、この天神島自然教育園に籍を置いて、今日は駐車場の管理ですが、いろんなことをやりながら自然に親しんで第二の仕事に従事しているなんて、彼の能力の高さを感じました。その彼が、何十年も経っても私を良しとしてくださっていたなんて、ここで今日こうしてお会いしなければわからなかったこと。真面目に人、大切にしている良かったなあ、です。

なんだか暖かい気持ちになって、帰路につきました。で、さっそく W さんにライン。

「Kさんと三人で一献、Kさんが会いたがっています。」

W さんから返信。

「よくわかります。K さんですよ。私の後の剣道専門部の専門部長ですね。一時期は兄弟みたいにご一緒していました。」

細野 裕（校区住民協 監事）

編集後記

セントポーリア・・・寒くてやや色味が少ないこの時期に、窓辺に華やかな黄色やピンクや紫等の花が雰囲気を明るくしてくれる花で私が好きな花である。原種はイワタバコ属の「アフリカスミレ」と呼ばれる紫色の小さな花である。アフリカの山岳地域に生息しているらしい。現在は園芸種として愛され 15,000 種類に及ぶ花として紫、黄色、桃色、赤、白、水色と愛好者を楽しませてくれている。暖かく日当たりを好み、よく家庭の日当たりの良い窓際に置かれる事が多い。

花言葉は「小さな愛」、「親しみ深い」「窓辺の美人」と云われ、贈り物にも良く使われる。

事務局長 石井 達郎

